

亡くなる前日、2021.12.23 静岡共生フォーラムのためのメモ

こんにちは、実は入院中です（笑）

本当は直接お会いしたかったのですが、ちょっと叶わず、残念。

でも、コロナのおかげでオンラインも結構フツーに w

病院の協力

今回のテーマは「共生」ですね。

---

英語ではインクルージョン。（いろんな言い方をするけど）

また、誰も排除しない、誰も取り残さない、なんて言い方も（SDGs でも）

私は、一番私は分かりやすい説明として、

「ここ」にいていい条件を作らない、と言っている。

いいことですね？

ここで皆さんにひとつ質問をしたいと思います。

---

一般的に、赤ちゃんが生まれる時には、「おめでとう！」と言いますね。

妊娠が分かった時にも。お祝いムード満載で

もし、その赤ちゃんに、実は重度の障害があるんだ、と告げられたら、なんと声をかけますか？

いつまで生きられるか分からないんだ、と。

五体満足な赤ちゃんの場合と同じように、おめでとう？

「良かったね〜！」

「え？障害あるの？やったじゃん！」

なんて言っていていか分からず、絶句するはず。

残念ね？

お気の毒に、気を落とさずね？

がんばって絞り出すとしても「何かできることがあったら言ってね」くらい？

それでも残念感はある w

なぜ？

可哀想に

生まれない方が幸せだったのでは？

うちじゃなくて良かった

という気持ちはありませんか？

少なくとも、心の底から祝福する気にはなれない。

これは、周りの人の反応だけでなく、親自身も同じこと。

自分の誕生をもっとも祝福してほしい親でさえ、

その誕生を嘆き悲しむ

私の親もそうでした。

周りの人たちからも、社会からも、そして自分の親からも、誕生を歓迎されない、そんなところから、私の人生はスタートしているんだということです。

---

それでも幸運だったのは、親が、すぐに気持ちを切り替えて、

「生まれてきたからには少しでも社会に役立つ子に」と切り替えたから。

「可哀想と保護するだけでなく、少しでも自立した人生を歩める子に」と

その結果、どんなことを意識して子育てをしてきたか。

地域の学校へ

→まだ私の障害はどういう障害なのか、医療界でもちゃんと分かっておらず、3歳までの命、と言われていた。

（それがなんの間違いか、もう44ですわ…何倍生きるつもりだよw

何回も死にかけてはいますけどねw)

危険なところには出さず、家の中など安全な場所で育てなさい、と。

→せっかくこの地域に生きているのに、その存在を知られないのはおかしい、地域の子は地域の子達の中で育つもの

人の手を借りられる勇氣

→（3歳で死ぬって言われてたのにw）親亡き後のことを考えた。

→全介助になるのであれば、他者の手を借りなければ生きていけない。

→人サーフィン

高校を出たら家を出ること

→兄も弟も

→大学時代は100%ボランティアで生活（人生で一番大変だったかもw)

---

2001年から東京で自立生活開始

大学の時はボランティアだったけど、今は国の介助制度が整っています。

→重訪……（もう20年ですー！）

今は、障害のある人の自立支援、相談支援をやっています。

---

自立に際し、地域では反対や疑問の声が相次ぎました。

お金がかかる、人に迷惑をかけてる、ワガママだ…

→障害者は、やってもらってるだけじゃない。

→障害者が感じている苦勞や困り事は、障害者にしか分からない

→障害者が住みやすい町は、どんな人にも住みやすい（エレベーターとか、学校バリアフリーとか）

→どんどん私たちのこと活用してよ！

要望活動ではなく、行政と市民との役割分担ってこと

→自立支援協議会会長に

---

でも、なんで、そもそもそんな拒否反応が起きたのか？

分離教育システムのお陰で、障害者と関わる機会がないまま大人になる

→先入観、偏見、勘違いからの差別

あからさまな差別から思いやり差別へ

→本当に、心の底から障害者のためを思って、親切心で言ってくれている

→良かれと思って言っただけなのに、なぜ逆らうの?! という気持ち

思いやり差別の裏側には…

---

社会の中には、人としての価値、命の価値を求める圧力

やまゆり園の殺傷事件に象徴されている（ネットで賛同の声）

それに対して「命の価値」の話もされる。→すべての人の命には同じ価値がある

果たしてそうか??

---

→いや、命に価値なんかない

（価値という土俵に乗ると、価値が高いか低いかの話になってしまう）

---

屋久杉の話

価値は見出すもの、創り出すもの

→小さい子が、なぜか石ころを大切にしていたり、誰かからもらった手紙が宝物だったり、他人にとってはどうでもいいゴミみたいなものが、人によっては宝物。

それを勝手に捨てられたら泣いて怒るでしょ、許せないでしょ。

誰かにとって価値のあるものを勝手に捨てたり殺したりしてはいけない

---

生産性がなければ、貢献性がなければ、人としての価値がないのだから殺されても仕方ない

（やまゆり園の事件で言えば、自分の名前を名乗れないような人間は人とは呼べない）

他にも障害者は…

障害者なんだから、他の人より我慢するのは当たり前

障害者なんだから、もっと周りに感謝して、ありがとう、ごめんなさいを言って

障害者なんだから、もっと素直に、笑顔で言うこと聞け…

→障害者以外にも、こういう社会からの条件は突きつけられている

男なんだから、嫁というものは…

皆さん、ひとりひとり胸に手を当てて思い出してみ

→こんなこと押し付けられて、嫌な思いした人、生きづらい思いをしている人、いませんか？

障害の有無に限らず、ここにいていい条件（そのカテゴリーに所属する条件）を作らないこと

それがインクルージョン

---

オリパラの影響で「心のバリアフリー」とか言っちゃって、授業で取り上げたり、道徳の教科書に載ったりしてるけど…

学校で習うことじゃない。

実際に、いろんな人との関わりを通して、体験し、喧嘩したり議論したりしながら、「まあそういうのもアリか…」って思えるようになること。

---

違いに対して嫌悪や不安を持つのではなく、いかにおもしろがれるか

→あえて正解は見つけないこと

（何が正しいか、こうあるべき、など）